

# 2019年度 人権・平和教育 実技研修会

- 研修会テーマ 「はだしのゲンのつくりかた2」
- 開催期日 2019年 8月1日(木) 10:00~11:30
- 講師 江別市立野幌小学校 阿部教諭
- 会場 石狩教育研修センター 研修室A
- 日程

9:00	役員集合
10:00	開会
10:05~11:25	講演
11:30	閉会

○参加者 39名

○研修会の様子



今年度は野幌小 阿部先生を講師にお招きし、「はだしのゲンの作り方2」と題して平和教育、劇指導についてのお話をいただきました。

2014年度には「そしてトンキーも死んだ」、2015年度には「はだしのゲン」を中心にお話いただき、好評を博しました。今回も今年

度「はだしのゲン」を学芸会で行う阿部先生に「ぜひたくさんの先生に劇のことを教えてください!」とお願いし、行われた研修です。

冒頭、阿部先生のお父様が自宅に作られた「白石郷土資料室」に展示されていた戦争にまつわる貴重な資料を見せていた

きました。戦時中の教科書や寄せ書き入りの日章旗、千人針、軍帽、焼夷弾など、なかなか目の当たりにできない品々を実際に触れながら見せていただきました。また、これまで阿部先生

が学芸会で使われてきた劇の道具も見せていただきました。

講演に入り、今日の平和教育を取り巻く情勢、戦争劇を指導する意義、阿部先生がこれまで実践してきた劇指導の実際についてお話をいただきました。

戦争劇を子どもたちと作ることによって、時間をかけて共に平和について考えられるということ、実際に演じることによって子どもたちが真剣に「平和とは何か」を考えられることなど、



メリットがたくさんある。子どもたちがしっかりと劇に向き合えるための4月からの準備、脚本をどう形にしていくか、オーディションのポイント、「劇から芝居へ」の移行、そして、どのように完成へと持っていくか。具体的なお話をいただき、夏休み中、休み明けの実践の大きなヒント、示唆をいただきました。

最後に、阿部先生が昨年度に指導された沖縄戦を題材にした劇「南北の塔」を見せていただきました。子どもたちの迫真の演技と真剣なまなざしを参加者全員で見ることができました。

参加者の皆さんの声からも、非常に有意義な研修となったことがわかります。

#### ○参加者の方の声

- 阿部先生の講話を聞くことができる貴重な機会、参加でき本当に良かったです。平和について考えること、学芸会の劇で取り上げること、「これやったらまずいかな?」「何言われるかな?」と自主規制するのではなく、これからもどんどん取り組んでいこうと思いました。ありがとうございました。
- 戦争に対して平和ということはどう子どもたちと劇を通して考えていくか、とても有意義な研修だったと思います。自校でも生かしていきたいと思います。
- 私たち教師が過去を学び、伝えていくことをしなければ戦争の事実を知らぬまま大きくなっていくと思うので、改めて意識し、学んでいきたいと思いました。劇づくりについて学ぶことができ、よい機会となりました。
- 念願の阿部先生のお話が聞けて大変勉強になりました。劇づくりのポイントはもちろん、何よりも阿部先生の「熱」が伝わり、やはり一番大事なところだな、と改めて感じたところです。
- 「学力向上」に追い立てられ、中学校に入学してくる子どもたちが戦争について知らなすぎます。この状況にあって「はだしのゲン」の劇は反戦の意思を育む貴重なものだと強く思います。もっともっと多くの先生たちに聞いてほしい話でした。
- 劇ができあがるまでの過程がわかりやすかったです。たくさんの物品の展示もリアルで良かったです。国語の教材（戦争教材）がどんどん少なくなっていく今、何をもちて戦争を考え、教えていくのか改めて気づくことが多かったです。いつか「はだしのゲン」の劇ができなくなるかも、という話も印象的でした。暑い夏にぴったりの研修だったように思います。ありがとうございました。
- 阿部先生の指導に対する熱意が伝わり、多くのことが参考になりました。これまで平和教育や劇指導について深く考えていなかったことが実感できました。自分もより真剣に子どもたちと向き合いたいと思いました。とても有意義な研修でした。ありがとうございました。
- 本当に充実した研修会でした。今回は戦争の劇を演じることの意義、子どもたちへの取り組みませ方、そして指導者側の意識の持ち方など、ためになるお話ばかりでした。また、実際の戦争に関わる物品を見ること触れることができたことも貴重でした。ありがとうございました。